



中山 金一 議員

## 団塊世代退職者向けの 栽培研修を行ってはどうか

問

団塊世代退職者向けの農業について尋ねる。

(1) JAでは、20人規模で売れる野菜づくり講座が1年間無料で開催され、好評である。また刈谷市では、生きがい楽農センターをつくり、団塊世代退職者の新規就農の手助けを行っている。  
市とJAの提携で農作物の栽培研修の場をつくり、就農支援を図ってはどうか。  
(2) 市の遊休地の面積  
(3) 遊休地に、農業技術を学んだ人が土地を借り、花の植栽や野菜栽培をし、環境をよくする施策はできないか。

答

## 県とJAが行う研修を側面的に協力

開発部長

(1) 現在、県、JAがそれぞれ技術的な指導を行っている。そういった面について熟知しながら側面的に協力していきたい。  
(2) 市内の遊休農地は約5haである。  
(3) 法規制の問題等もあるので、農家に限定される。各集落が実施する農地・水・環境保全向上対策の一環として、地域で話し合いのものと環境美化等を行ってもらうのが一番ありがたい。

## 三ツ又池地区の 維持管理費は

問

三ツ又池地区【注】（二子宝地内ほか）について尋ねる。

【注】十四山地区を流れる宝川の遊水池「三ツ又池」周辺を、県が整備を行っている。

池を除く面積は約6.7ha。今年度中に市が譲受を受ける。  
(1) 20年度完成と聞いているが、事業の概要は。  
(2) JAの協力を得て、三ツ又池周辺の休耕田を利用した貸し農園や、会員を募集しオーナー制の黒豆づくり等を計画してはどうか。  
(3) 草がいつぱいの公園というイメージがあるが、今後の維持管理費はどの程度必要か。

## 1,500万円を想定 県に補助を依頼したい

答

開発部長

(1) 6年に事業が開始され、総工費は約27億7,905万円である。  
(2) 十四山地区は集落ごとに転作用地を回し（減反を行って）いる。また実施には一区画でないと排水等の問題があり、これは地区で検討していかざるを得ないと思う。  
そういった問題がクリア

されれば、一度JAや生産組合長にそういったつなぎをしてもらうなりして対応はしていきたい。

答

市長

(3) 開発部長から（管理費が約1,500万円という）話があったが、この三ツ又池は（旧十四山村が）1億円の基金を積んでおり、当初は年利5%ぐらいは（管理費として）予定できる状況だったが、時代が変わり大変厳しい。

県にも相談し、補助も依頼していきたいと具体的に考えている。



三ツ又池地区（10月7日撮影）